

留学の感想

陈悦

陳悦と申します。日本に来てもうすぐ二年になります。様々な失敗と挫折を体験しながら、亜細亜友之会外語学院の先生方の助けの下で、2015年9月早稲田大学文化構想学部合格できました。ここでは、サポートして下さった先生方、落ち込んでいる時に励まして下さった校長先生と石川先生に感謝を申し上げたいと思います。先生方の助けと応援がなかったら、きっと失敗の影から逃げ出すことはできませんでした。

高校卒業後、中国国内の大学に進学しました。小さい頃から、日本のアニメが好きで、日本へ留学するという夢をずっと抱いていました。大学2年生の時、インターネットから留学の情報をいろいろ得て、大学を中退して日本へ留学することを決めました。経済的な負担、時間の無駄などの理由で、最初は家族皆反対していました。しかし、自分の将来の夢と留学後の人生計画を何回も家族に説明し、両親を説得しました。最終的に、親も私の固い決心を見て、妥協するしかありませんでした。

日本に来たばかりの頃、右も左も分からず、日本語学校の先生方は唯一の救いでした。亜細亜に進学したばかりの頃、学校の厳しい規則にあまり慣れなかったのですが、自分のような自制心の弱い人間にとってはむしろ厳しく管理されるほうが好都合だと思います。厳しい管理体制と高い責任感を持つ先生方が亜細亜に高い進学率をもたらしていると思います。その一方、学校の先生方は生活の面でも勉強の面でも、学生のために色々考えてくださいました。

日本の生活に慣れてきたところで、大学受験が始まりました。両親の負担を増やしたくないので、一年目の受験時は国立大学3校を受験しました。今冷静に考えてみたら、留学試験の点数がそんなに高くなったのに、国立だけ絞ったのは無謀だったと思います。結局、3校全部不合格という厳しい結果に終わりました。そのショックで3ヶ月位落ち込んで、やる気と進学の意欲が全部失ってしまいました。帰国するか適当にどこかの専門学校に入ればいいと思いました。そんな時に、助けの手を差し伸べて下さったのは大澤先生でした。先生と何回か話しをさせて頂いて、やっと自分の向かう方法とやるべきことが分かってきました。来年は国立だけではなくて、私立の学校もチャレンジしてみたいと決めました。

自分の志望校をもっと身近に見てみたいなら、学校のオープンキャンパスに参加することをお勧めします。夏休み中に、上智大学、立教大学、早稲田大学のオープンキャンパスに参加して、体験授業も受講してみました。その中で、早稲田大学の雰囲気と授業内容の面白さに魅了されて、絶対に早稲田大学に入りたいと決心しました。

早稲田大学の入学試験が非常に早くて、7月に出願、9月に入学試験という日程になっています。早稲田大学の学部受験は、N1合格或いは留学試験日本語の成績はあくまでも参考程度しかないそうです。学校内の小論文試験と日本語試験の成績が筆記試験の結果を左右すると聞いています。筆記試験合格発表の次の日、すぐ面接試験になります。本番の面接の前日に、数人の先生に何回も練習して頂きました。先生方との面接練習で聞かれた質問が本番でも聞かれました。本当に助かりました。

成功への道は凸凹と泥沼ばかりの険しい道になるかもしれません。自分の夢のために頑張り、成長していくことは何よりも心から嬉しいことだと思います。後輩の皆さんは自分の夢に向かって頑張る道中を楽しみ、また毎日を充実させ、必ず自分の夢を叶えるように最後まで諦めずに頑張ってください。